

	【A方式】 (一次選考までに全ての技術提案書を提出)	【B方式】 (一次選考で一部の技術提案書を提出)
方式の概要	<ul style="list-style-type: none"> 企業や担当者の実績、資格は参加要件 実績・資格は定量的に評価しない 一次は点数制or投票制で二次選考（プレゼン）通過者を選定 二次は点数制or投票制で選定 	<ul style="list-style-type: none"> 企業や担当者の最低限の参加資格を設定 実績・資格を定量的に評価する 一次は定量評価のため投票制は採用できず、技術提案書の評価も点数制となる。 委員が選定した技術提案書の評価と合算し二次選考通過者を選定 二次選考通過者は改めて技術提案書を作成。審査委員は提案書+プレゼンで評価 二次は点数制or投票制で選定
フロー図		
特徴課題	<ul style="list-style-type: none"> 参加要件（設計実績の面積や用途等）の基準の設定次第での参加者が増減する可能性がある。 一次選考からすべての参加者の技術提案書の評価を行うことから、選考等委員の負担が大きい。 	<ul style="list-style-type: none"> A方式に比較して、選考期間が長くなる。 一次選考では、一部の技術提案（A4 1枚程度を想定した場合）のみの審査のため、応募者が多数の場合も、選考等委員の評価の負担は少なくなる。一方で、実績に重点を置いた評価となるため、参加者が限定される懸念がある。